

# ほけもん

216 ファック



花菖蒲に魅せられて...

ふれあいの里公園内の日本庭園に、約2,000株もの花菖蒲が植えられています。5月中旬ごろからだんだんとつぼみが開き、白や紫などの花を鮮やかに咲かせます。訪れた人々を魅了する花菖蒲をぜひご覧ください。

## 今月の表紙

### 薩摩郷句 兼題「雑巾」

這つ廻つ雑巾代ゆば孫がしつ  
(唱) 良か洋服なんだ 真つ黒なけつ  
上村牛歩

また零べつ雑巾か間無しの子沢山  
(唱) あらこらそちら 忙しこつじゃが  
諸木小春

尻や天に横一列で廊下拭つ  
(唱) よーいっどんで 競争どんしつ  
北村虎王

雑巾掛け手を抜たこや白ろ残つ  
(唱) 早よ済んだこて またやい直し  
二見愚楽満

着ちよい服く雑巾ち吐す籠輿様  
(唱) やつと買った服き 言も言たもんじや  
満石江吟

### 大崎短歌会

このあたりねじ花の芽のありそうな  
草取る手止め目をこらしみる  
上南紀子

わが辞書に「老」の字はなしたわむ  
れて言いしばかりにこきつかわるる  
大和てるみ

茶摘みうた唱ひつつ摘みし遠き日よ  
今機械もてみるみるうちに  
中崎ハナエ

日本はなぜ戦端を切ったのか難かし  
過ぎて解らぬもどかしさ  
原田葉子

剪定の終りし庭に次々と羽を広げて鳩  
の降り立つ  
長重悦子

### 大崎俳句会

白き雲徐々に動きて山笑ふ  
桑原正樹

遠目にも著く天突く辛夷かな  
春田昌子

宵闇の白木達は妖気めく  
三浦倫子

巢作りの鳩の忙しき屑運び  
坂元つる子

つまづきし物振りかへる臍月  
折田スズ

## 人権啓発シリーズ

### ～女性の人権について～

【性別に関係なく自分らしく、  
安心して暮らすことができる社会へ】

家庭で家事や育児を『女性だから』と決めつけず家族がともに責任を果たすことで、家族みんなが暮らしやすい環境が生まれます。

職場や地域でも、『男性のほうが』と決めつけず能力や意欲に合った仕事をするので、みんながいきいきと活躍できる環境が生まれます。少し意識を変えるだけで、性別にかかわらず、自分らしく安心して暮らすことができる社会が実現するのです。